

2019年10月17日

株式会社東陽テクニカ

## **東陽テクニカ、北海道総合通信網と Spirent Communications Japan の3社がサイバー攻撃に対す るプロアクティブディフェンスに関する実証実験を開始**

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝）、北海道総合通信網株式会社（本社：北海道札幌市、代表者：取締役社長 林 宏行 以下、HOTnet）と Spirent Communications Japan 株式会社（本社：東京都千代田区、代表者：ジャパン カントリーマネージャー 中村 彰宏 以下、Spirent）の3社が共同でサイバー攻撃に対するプロアクティブディフェンスに関する実証実験を2019年10月17日（木）より開始しますので、下記の通りお知らせいたします。

### 1. 背景

近年、大規模なデータ漏洩/侵害総数は過去数年で増加傾向にあり、セキュリティ機器やセキュリティオペレーションサービスの導入など、様々な対策が実施されております。また、クラウド・IoT・産業用ネットワークなど管理範囲は拡大・複雑化していることに加えて、ビジネスのスピードの加速により、各企業や団体のネットワークやシステムが日々変化していることで、新たなセキュリティ脅威が生じることがあります。リアクティブな防御ではそれを検出することが難しく、セキュリティインシデントの発生によってはじめてその脅威が判明するなど、セキュリティの完全性を継続的に維持することが困難な状況となっています。

### 2. 概要・特長

本実証実験では、HOTnet の「S.T.E.P 札幌データセンター※1」内に事業者のセキュアインフラに見立てたネットワーク・システムを構築し、Spirent の「Data Breach Assessment※2」により実際のハッカーの活動を擬似的に再現したサイバー攻撃を自動的かつ継続的に実施し、IBM 社の「QRadar on Cloud」を用いて各種セキュリティ装置のログなど相関的に分析することで、セキュリティに関する問題をリアルタイムで把握・解析し、様々なサイバー攻撃に対するプロアクティブディフェンスについて実証します。

### 3. 今後の展開

東陽テクニカ、HOTnet、Spirent は、本実証実験の結果を活用し、新たなセキュリティサービスの展開を目指すとともに、お客様のセキュリティに関する課題解決に取り組んでまいります。

※ 1 S.T.E.P 札幌データセンター (<https://www.hotnet.co.jp/datacenter/>)

自然災害の被害を受ける可能性が低い札幌市に立地しており、首都圏災害発生時の同時被災リスクを低減することが可能です。また、交通の便がよく、アクセスしやすい都市型データセンターのメリットを併せ持っています。免震構造を備えた建物や、複数の通信キャリア・経路による冗長化した通信回線、異なる変電所からの 2 系統受電、72 時間無給油連続運転可能な自家発電機などを完備し、万が一の災害時に備えています。

※ 2 Data Breach Assessment

(<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/DataBreachAssessment.html>)

様々なセキュリティインシデントをエミュレートし、本物のハッカーによって攻撃される前に防御の穴を検出します。エージェント間のみの通信によってエミュレーションを行うため、実ネットワークに影響を与えることなくネットワークにおけるセキュリティを評価します。テスト環境の構築、テストの実行、検出された問題の管理までを自動化し、実ネットワーク上のセキュリティの問題をリアルタイムで把握・解析します。

### <北海道総合通信網株式会社について>

自らの光ファイバネットワークを基盤に高品質な企業ネットワークインフラからシステム構築・運用までトータルなネットワークソリューションを提供いたしております。2017年9月にはS.T.E.P札幌データセンターを開業し、通信事業者としてのノウハウや強みを活かして、自社・他社を問わず、各種のクラウドサービスなど、お預かりしたお客様のITシステムとを連携させることが可能な環境を提供いたします。

北海道総合通信網株式会社 Web サイト：<https://www.hotnet.co.jp/>

### <株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは1953年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁両立性）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、ライフサイエンスなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。

「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

### <Spirent Communications Japan 株式会社について>

Spirent Communications Japan株式会社は、アメリカ・カリフォルニア州サンノゼに本社を構える測定器メーカーであるSpirent Communications社の日本法人です。IT・通信業で用いられる最新の技術、インフラストラクチャ、アプリケーションを評価するための先進的な測定器、測定手法を開発・提供しています。

Spirent Communications Japan 株式会社 Web サイト：<https://www.spirent.com/>

### ★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

TEL：03-3245-1250(直通)

E-mail：[ict\\_contact@toyo.co.jp](mailto:ict_contact@toyo.co.jp)

セキュリティインシデント・エミュレートソリューション「Data Breach Assessment」サイト：

<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/DataBreachAssessment.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。